

第1時

ループリック（課題の設定）

目標1 観察による気づきや疑問から課題を設定することができる。

A	B	C	D
結晶の観察から問題を見つけ、その <u>問題を解決するためには具体的に何を調べる必要があるかに気づく</u> ことができた。	結晶の観察を通して気づきや疑問をもち、そこから <u>問題を見つける</u> ことができた。	結晶の観察を通して <u>気づきや疑問をもつ</u> ことができた。	結晶の観察をすることができた。



第2時

ルーブリック（観察・実験の実施）

目標2 観察、実験に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。

A	B	C	D
適切に実験器具を操作して観察・実験を実施できた。また、実験の様子や結果だけではなく、 <u>気付いたことや疑問についても記述</u> できた。	適切に実験器具を操作して観察・実験を実施できた。また、 <u>実験の様子や結果について記録</u> することができた。	<u>適切に実験器具を操作して観察・実験</u> を実施できた。	観察・実験に参加できた。



第3時

ループリック（表現）

目標3 観察・実験の結果や考察について、発表資料を作成できる。

A	B	C	D
<p>発表資料について、観察・実験の結果と粒子間の結びつきとの関連について整理し、<u>他者にも分かりやすくなるように工夫しながら作成することができた。</u></p>	<p>発表資料について、<u>観察・実験の結果と粒子間の結びつきとの関連について整理</u>し、作成することができた。</p>	<p>観察・実験の結果についてのみ<u>発表資料を作成できた。</u></p>	<p>発表資料の作成に取り組めた。</p>



第4時

ループリック（伝達）

目標4 作成した資料を使って、説明することができる。

A	B	C	D
作成した資料について伝わりやすい表現を用いながら、相手の <u>反応に合わせて説明</u> できた。	作成した資料について伝わりやすい表現を用いて、説明できた。	作成した資料について <u>説明</u> できた。	発表に参加できた。



○ 自らの学習を調整しようとする側面（探究シート ①・②より判断）

A	B	C	D
<p>探究を通して学んだことについて、<u>観察や実験から得られた特徴と粒子間の結びつきとを関連付けて記述</u>できている。</p>	<p>探究を通して学んだことについて、硬さや臭いのほかに、水への溶解性や電気伝導性など<u>実験から得られた特徴も記述</u>できている。</p>	<p>探究を通して学んだことについて、硬さや臭いなど<u>物質の観察から得られる特徴が記述</u>できている。</p>	<p>探究を通して学んだことについて、<u>物質について何らかの記述</u>がある。</p>

〔例〕（評価C）水晶は極めて硬い。

（評価B）水晶は極めて硬く、水に溶けにくい。

（評価A）構成している粒子の結びつきが強いため、水晶は極めて硬く、水にも溶けにくい。

○ 粘り強い取組を行おうとする側面（探究シート ⑦より判断）

A	B	C	D
探究の過程を通じた学習活動に粘り強く取り組めた様子だけでなく、 <u>自分の学習の成果や生じた新たな課題や疑問についても記述できている。</u>	探究の過程を通じた学習活動に粘り強く取り組めた様子だけでなく、 <u>自分の学習の成果についても記述できている。</u>	探究の過程を通じた学習活動に粘り強く取り組めた様子が <u>記述できている。</u>	探究の過程を通じた学習活動に <u>取り組めた様子が記述できている。</u>